

第 12 回 遺伝学 談話会のお知らせ

本会東北談話会が中心になり、今回も広く一般の方々も対象に「遺伝的安定性維持機構」と題して次の日程で本会談話会を開催します。会場は仙台の広瀬川沿いです。皆様のご参加をお待ちしています。

日時：2010年2月20日（土）12:30～14:00

会場：仙台市民会館・第4会議室

〒980-0823 宮城県仙台市青葉区桜ヶ岡公園 4-1

電話：022-262-4721 Fax：022-215-3950

HP：<http://www.tohoku-kyoritz.co.jp/shimin/index1.html>

（交通・地図等、詳しくは上記HPをご覧ください）

参加費：無料（参加資格は問いません）

講師と講演要旨

化学物質と放射線の複合影響評価に関する研究

山本歩^{a,b}、増村健一^a、池田恵^a、坂元康晃^a、本間正充^a、能美健彦^a

^a 国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部

^b 八戸工業高等専門学校 物質工学科

我々の生活環境には紫外線、化学物質、放射線など様々なストレス因子が存在している。このような多様な因子に複合的に暴露されることが及ぼす生体への影響を理解することは、ヒトへのリスクを考える上で重要である。今回はストレスの中でも放射線と化学物質の複合効果について個体、細胞、分子レベルから検討した事例を紹介する。

突然変異と遺伝病

山本和生

東北大学大学院生命科学研究科

ゲノム研究の急速な発展の結果、ゲノム配列の個人差は 0.1%程度と言われている。ヒトゲノムは、30 億塩基対で構成されている。従って、 $30 \text{ 億} \times 0.1\% = 3,000,000$ 塩基の個人差があることになる。この違いは血液型、顔つきや個性の違いなどとして理解すると同時に、遺伝病の成り立ちと理解することも可能である。本談話会では、ゲノム配列の違いが生じる仕組みについて話題を提供することで、遺伝病の理解へとつなげたい。

連絡問い合わせ先：

山本博章（東北大学・大学院生命科学研究科）

電話&FAX： 022-795-6692

e-mail：hyamamot@m.tains.tohoku.ac.jp
